

単元評価規準と小単元評価規準

研究事例	第4章 ビジネスと売買取引 売買取引における主体的な活動授業展開例			
単元名	第4章ビジネスと売買取引 1 売買取引と代金決済 2 売買に関する計算			
単元の目標	売買契約の意義、売買契約の条件、売買契約の締結と履行、さらに代金の決済など売買取引に関する基礎的な内容について理解させる。			
単元 の 評 価 規 準	関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
	ビジネスと売買取引の関わりに関心をもち、流通活動における売買取引、代金決済の仕組み及び売買計算の方法について、自ら進んでまとめたり確認しようとする。	売買取引と代金決済及び売買に関する計算について、様々な角度から主体的かつ客観的に考察するとともに、売買取引の手段や計算方法及び代金決済手段の諸問題を身に付けている。	ビジネスと売買取引の関する基礎的・基本的な技術を身に付け、売買に関する各種の計算を行うとともに、売買取引の代金決済についての的確に処理する。	ビジネスと売買取引の関する基礎的・基本的な技術を身に付け、代金の決済手段及び売買に関する計算の方法について理解している。

小単元名	1 売買取引と代金決済（8時間）			
小単元の目標	売買契約の意義、売買契約の条件、売買契約の締結と履行、さらに代金の決済など売買取引に関する基礎的な内容について理解させ、特に模擬取引例を用いて実際に帳票類を利用し理解を深める。			
小単元 の 評 価 規 準	関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
	売買契約の意義や売買契約の条件及び締結と履行など売買取引の手順について、関心をもち、自ら進んで調べたり、まとめたりしようとする。特に模擬取引例を用いる帳票類の作成に意欲的である。	売買契約の意義や売買契約の条件及び締結と履行など売買取引の手順について、様々な角度からその合理性を客観的に考察しようとする。特に模擬取引例を用いる帳票類の手順を考察している。	売買契約の意義や売買契約の条件及び締結と履行など売買取引の手順について、様々な資料を活用して把握するとともに、売買取引の手順を正しく説明できる。特に模擬取引例を用いる帳票類が作成できる。	売買契約の意義や売買契約の条件及び締結と履行など売買取引の手順について、基礎的・基本的な知識を理解している。特に模擬取引例を用いる帳票類を理解している。

小単元の指導と評価の計画

小単元「売買取引と代金決済」の指導と評価の計画

授業の流れ		一次 売買取引の手順（４時間） 二次 代金決済の方法を知ろう（３時間） 三次 電子商取引（１時間）				
次	時	学習内容	学習活動における具体的評価規準および評価方法			
			ア 関心・意欲・態度	イ 思考・判断	ウ 技能・表現	エ 知識・理解
1	1	・売買取引の手順を理解させる。 ・売買取引の条件には何があるのか理解させる。	・売買取引の手順に関心を持ち、意欲的に調べたりまとめようとしている。 ・売買取引にはどのような条件があるか関心を持ち、意欲的に調べようとしている。（観察）	・売買取引の手順とはどのような手順なのか身近にとらえようと考察している。 ・売買取引にはどのような条件があるか表にまとめ区別しようと考察している。（ノート記述）	・売買取引の手順とはどのような定義か具体的に説明できる。 ・売買取引にはどのような条件があるか区別して説明できる。（対話）	・売買取引とはどのような定義か理解している。 ・売買取引にはどのような条件があるかその区別を理解している。（対話・ワークシート）
	2	・売買取引締結の方法を理解させる。 ・売買取引の履行を理解させる。	・売買取引締結の方法には何があるのか関心を持ち、意欲的に調べたりまとめようとしている。 ・売買取引の履行には何があるのか関心を持ち、意欲的に調べたりまとめようとしている。（観察）	・売買取引締結の方法について用いる帳票を理解しようと考察している。 ・売買取引の履行について理解しようと考察している。（ノート記述）	・売買取引締結の方法について用いる帳票を区別してそれぞれの特徴を説明できる。 ・売買取引の履行について、具体的に説明できる。（対話）	・売買取引締結の方法について用いる帳票をそれぞれの特徴を理解している。 ・売買取引の履行について理解している。（対話・ワークシート）
	3	・売買取引の締結を模擬問題により、実際に帳票を作成し理解させる。	・売買取引の締結の模擬問題に関心を持ち、実際に帳票を作成することに意欲的に取り組もうとしている。（観察・帳票作成）	・売買取引の締結の模擬問題により、実際に帳票を作成してその特徴を理解しようと考察している。（帳票作成）	・売買取引の締結の模擬問題により、実際に帳票を作成してその特徴を区別して説明できる。（帳票作成・対話）	・売買取引の締結の模擬問題により、実際に帳票を作成してその区別を理解している。（対話・帳票作成）
	4	・売買取引の履行を模擬問題により、実際に帳票を作成し理解させる。	・売買取引の履行の模擬問題に関心を持ち、実際に帳票を作成することに意欲的に取り組もうとしている。（観察・帳票作成）	・売買取引の履行を模擬問題により、実際に帳票を作成して理解しようと考察している。（帳票作成）	・売買取引の履行の模擬問題により、実際に帳票を作成できる。（帳票作成・対話）	・売買取引の履行の模擬問題により、実際に帳票を作成して理解している。（対話・帳票作成）

小単元の指導と評価の計画

小単元「売買取引と代金決済」の指導と評価の計画

授業の流れ		一次 売買取引の手順（4時間） 二次 代金決済の方法を知ろう（3時間） 三次 電子商取引（1時間）				
次	時	学習内容	学習活動における具体的評価規準および評価方法			
			ア 関心・意欲・態度	イ 思考・判断	ウ 技能・表現	エ 知識・理解
2	1	・代金決済の方法を理解させる。	・代金決済の方法には何があるか関心をもち、意欲的にまとめようとする。（観察）	・代金決済の方法には何があるか図表にまとめ理解しようと考えしている。（ノート記述）	・代金決済の方法には何があるか通貨や小切手、手形をそれぞれ区別して説明できる。（対話）	・代金決済の方法には何があるか通貨や小切手、手形をそれぞれ区別して理解している。（対話・ワークシート）
	2	・約束手形を理解させる。	・約束手形とは何か関心をもち、意欲的にまとめようとしている。（観察）	・約束手形の利用法を理解しようと考えしている。（ノート記述）	・約束手形の利用法が説明できる。（対話）	・約束手形の利用法を理解している。（対話）
	3	・為替手形を理解させる。	・為替手形に関心をもち、意欲的に取り組もうとしている。（観察）	・為替手形の利用法を理解しようと考えしている。（ノート記述）	・為替手形の内容が説明できる。（対話）	・為替手形の内容を理解している。（対話・ワークシート）
3	1	・電子商取引を理解させる。	・電子商取引とは何か関心をもち、意欲的に取り組もうとしている。（観察）	・電子商取引とは何かを理解しようと考えしている。（ノート記述）	・電子商取引とは何かを説明できる。（対話）	・電子商取引とは何かを理解している。（対話）

(指導上のポイントと考察)

教科書の例示のような複写式書式を利用し、売買取引の実習を取り入れることでより身近に感じやすくなる。隣同士で売買取引の書式をやりとりすることで机上でなく実際の取引の感じをつかむことができる。総合実践の書式を利用することで考察したが、エクセルなどで書式をあらかじめ作成し、利用してもよい。鉛筆でなく、ボールペンを使用し、押印については実際に生徒の印鑑を利用するのもよい。ワンライティングシステムでの書類を理解するには実際に使用することがいい。見積依頼書から領収証までの流れを押さえるといいが、各学校の都合により注文書から始めてもいいし、代金の支払いで実際に小切手や約束手形などを作成してもいい。今回の授業では見積依頼書から注文請書までにした。

注1：総合実践で使用する複写式帳票を利用するとよい。

注2：講義中心の一方的な授業になりやすいので、生徒に主体性を持たせるため、模擬取引による記帳練習プリントを活用した。

注3：机間指導をしながら生徒の考えや状況を把握し、授業展開に反映していく。

注4：時間配分を適切にしないと注文請書までいけないので注意する。

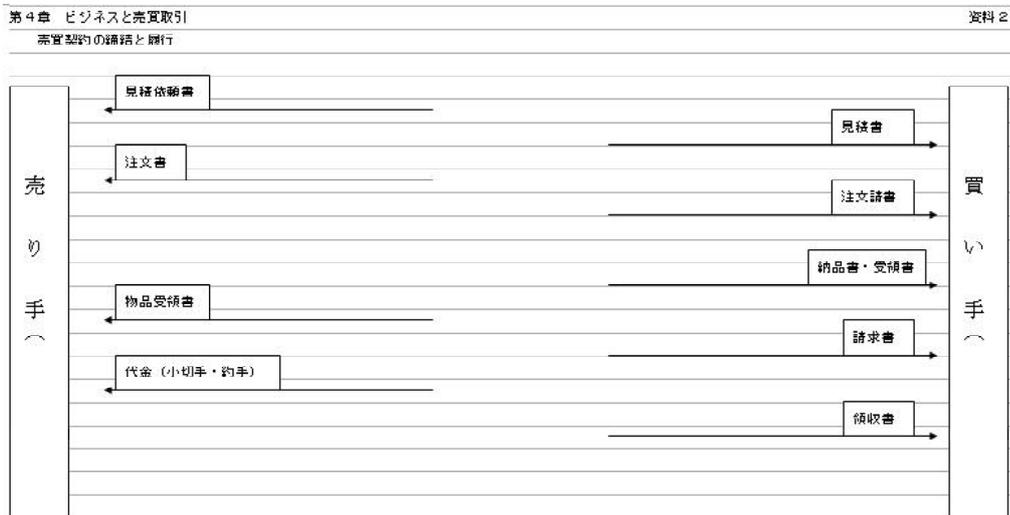
<実習風景>



見積依頼書の作成



見積書の作成



添付用ボード (買い手と売り手の帳票の流れがわかる)

模擬取引による記帳練習

買い手： 商事株式会社（岐阜県 市）
代表取締役： 自分
取引銀行： 銀行 支店（岐阜県 市）

売り手： 商事株式会社（岐阜県 市）
代表取締役： 隣の子
取引銀行： × × 銀行 支店（岐阜県 市）

見積依頼書： 11 / 1 （見積期限 1 週間後）

見積書： 11 / 5

各条件：

納入期限： 11 / 26

納入場所： 買い手倉庫

運賃諸掛： 売り主負担

運送方法： 自動車便

支払条件： 着荷後約手払い（支払期日 1 ヶ月後）振出日： 11 / 26

商品： 3 ドア冷蔵庫

数量： 10 台

単価： ¥ 150,000

注文書： 11 / 6

注文請書： 11 / 8

納品書・物品受領書・請求書： 11 / 25

領収書： 11 / 30

売買取引の締結と履行

